

骨ケア市民公開講座IN大分 はじめましょう 骨ケア

開催日：2015年9月13日(日) ホルトホール大分 3F大会議室
時間：13:30～15:30 (大分駅上野の森口 徒歩1分)

(12:50開場)

希望者は開場後にロコモトを実施します
お気軽にご参加ください！

入場無料
先着200名

ロコモ対策してますか？

【運動器の障害のために移動機能の低下した状態を「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ、和名：運動器症候群）」といいます。進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。】



総合司会：津村 弘 先生(大分大学医学部 整形外科学 教授)

【講演】

13:30-14:00

「ロコモティブシンドロームについて」

津村 弘 先生 (大分大学医学部 整形外科学 教授)

14:00-14:40

「みんなでロコモ度テスト」

片岡 晶志 先生 (大分大学 福祉健康科学部 教授)

ロコモスタッフ(大分大学医学部附属病院 リハビリテーション部 PT:兒玉慶司・坪内優太・兒玉吏弘)

14:50-15:30

「骨粗鬆症の最新の治療について」

吉岩 あおい 先生 (大分大学医学部附属病院 総合内科・総合診療科 診療教授)

共催：大分県整形外科医会/エーザイ株式会社
後援：大分合同新聞



骨ケア市民公開講座事務局：097-532-4667

ロコモティブシンドロームとは

はじめましょう

骨ケア

【運動器の障害のために移動機能の低下した状態を「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ、和名：運動器症候群）」といいます。進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。】

日本整形外科学会が、2007年（平成19年）に、新たに提唱しました。「ロコモ」の提唱には、「人間は運動器に支えられて生きている。運動器の健康には、医学的評価と対策が重要であるということを日々意識してほしい」というメッセージが込められています。

ロコモは、「ねたきり」や「要介護」の主要な原因です。ロコモは、「メタボ」や「認知症」と並び、「健康寿命の短縮」、「ねたきりや要介護状態」の3大要因のひとつになっています。